

生活保護減額 国は再考して

無職

(京都府 70)

私は栄養士・調理員として
定時制高校の給食作りを担当
してきました。調理場の仕事
で腰を患い、現在、障害年金な
どと生活保護をあわせた月額
13万円弱で暮らしています。

生活保護の基準改定で、食
費などの「生活扶助」が約7
割の受給世帯で引き下げられ
ることになりました。一般低
所得世帯の生活費よりも都市
部などの生活保護の「生活扶
助」の方が多いのが理由との
ことでした。驚きました。

保護費は皆さんの税金です
から無駄遣いできません。医

療費は無料になりますが、整
形外科への通院は最低限にし
ています。食費もぎりぎりま
で切り詰めて暮らしているの
です。全く余裕はありません。

これは私個人の問題ではな
く、社会問題だと考えます。
病気などで誰もが貧困に陥る
可能性があります。低所得世
帯の生活費が低いなら、それ
に対する援助こそ必要です。
弱者切り捨ての国の姿勢が見
えます。

人間は誰でも寿命が来るま
で生きる権利があります。そ
のための生活保護制度である
ことを、国はもう一度お考え
願います。